



## 生徒数335名、職員数38名の新体制でスタート

4月7日の入学式、4月18日のPTA総会も終わり、新年度がスタートしてから一ヶ月が経過しようとしております。玉前神社や一宮藩をはじめとする歴史と伝統のある一宮町に支えられた本校の生徒は、すがすがしい挨拶ができ、部活動がたいへん盛んであるというのが第一印象です。朝の10分間も整然と読書をしています。

このような中で本年は、県教育委員会から「ちば・ふるさとの学び」活用推進事業の研究校として指定されました。郷土に誇りと愛着を持った真の国際人を育成することがねらいです。職員一同、生徒のために微力ではありますが、様々な課題解決に向けて一丸となって努力してまいりたいと考えておりますので、よろしく御支援、御協力のほどお願いいたします。

### 「豊かな心と知性とたくましい体を備えた人間性溢れる生徒の育成」に向けて

本年度は、上記の学校教育目標の具現化のために次のような生徒の育成を目指しています。

めざす生徒像（具体像）＝**当たり前のことが当たり前**にできる生徒

- ☆ 明るく元気な挨拶ができ、正しい言葉で受け答えができる。
- ☆ 清掃、学習、係活動等に、協力しながら進んで取り組むことができる。
- ☆ 病気やけがをせず、いろいろな活動に粘り強く取り組むことができる。
- ☆ 目標をもって、学習に一生懸命取り組むことができる。
- ☆ ルールを守り、友達や周りの人のことを考えた行動ができる。

#### 重点目標

そのために、人間性豊かで、専門性に富む、信頼される教師集団を目指します

- ㊦ あいさつをする
- ㊧ 周りを思いやる
- ㊨ そうじをする
- ㊩ 決まりを守る
- ㊪ 勉強をする

そのためには、家庭や地域の御支援、御協力がぜひとも必要となります

あいさつをする、そうじをする、勉強をする、友達・家族・学校・一宮町などの周りを思いやる、学校の決まり・交通ルール・公衆道徳・社会の決まりを守るということは、当たり前のことだと思います。ご家庭でもぜひご協力をお願いします。

**遊楨** この欄は「あそべまき」にちなんで、遊楨と題して思うところを記してみたいと思います。因みに、楨は千葉県のみ木、一宮町の木はクロマツです。

「失敗は成功のもと」ということわざがあります。勉強でも、部活動の試合でも、行動でも失敗したら反省して、何が良くなかったのか、どうすれば良かったのかを考えて次に生かすことが成功につながる秘訣だと思います。そのためには、まず反省点、修正点に気づくことが大切だと思います。そして、その次には実際に行動に移すことが大切だと思います。もちろん、「言うは易く行うは難し」ですが。